

## 第1回 学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和8年4月14日(火)
- 2 場 所 御殿場特別支援学校 会議室
- 3 出席者 学校運営協議会委員
- |                                 |              |
|---------------------------------|--------------|
| 前小山教育長(CO)                      | 高橋 正彦 様      |
| トヨタ自動車(株)東富士研究所管理部              | 細井 敏光 様      |
| 時之栖 社長室                         | 加藤 弘一朗 様(欠)  |
| (福)御殿場市社会福祉協議会 常務理事事務局長         | 鎌野 晃 様       |
| 御殿場市未来プロジェクト課長                  | 渡邊 和美 様      |
| 町屋区長                            | 久澤 正順 様      |
| P T A代表                         | 瀬川 ひろみ 様     |
| 本校校長、副校長、教頭、事務長、各学部主事、教務課長、連携課長 |              |
| 生徒指導課長                          | 計 17名(内1名欠席) |

### 4 議事録

#### (1) 校長あいさつ

委員の皆様にお集まり頂き深く感謝している。任命書は本来この場で渡すべきであるが、後日お渡しさせていただきます。

#### (2) 自己紹介(略)

#### (3) 校内参観

#### (4) 学校経営計画について(校長) ※別紙

昨年末に立てた経営計画を基に紹介。

- 児童生徒数：小学部は68名(昨年度比12名増)、中学部は38名(8名減)、高等部は59名(5名増)。全体で165名(9名増)となっている。教員数、地域ごとの人数も別紙に添って紹介した。
  - 合言葉と目標：合言葉は開校2年目からの「いっしょけんめいに何かができる人」。一生ではなくひとつで良いから強みを持つという意味。目標は「自分らしくのびやかにたくましく」(令和5年度改訂)で、ウェルビーイングの趣旨を含んでいることを確認した。
  - 主な取り組み：
    - ・小山分校が全学年揃い3年目を迎えたこと。
    - ・地域との密接なつながりを目指すプロジェクトについて
    - ・重点事項(人権意識、障害理解、防災、地域連携)
  - 3つの柱：「守る」「育む」「つなぐ」を軸に展開。
  - 具体的な活動：
    - ・職員間での「ポジティブ・タイム」(互いの良い所を見つけ合う時間)の実施。
    - ・危機管理マニュアルのより実践的な見直し。
    - ・実態把握に基づいた授業改善と、得意な力を伸ばす支援。
    - ・教職員のOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)によるチーム作り。
    - ・12年間の積み上げを意識したキャリア教育の充実。
  - グランドデザイン
    - ・富士山をモチーフにした視覚的資料で、地域と学校ががっちり組み合う姿を表現している。
- ※拍手により、今年度の学校経営計画が承認された。



## (5) いじめ防止基本計画について（生徒指導課長）

- いじめの定義と理念：心理的・物理的な影響を与える行為（ネット含む）により本人が苦痛を感じているもの。未然防止、早期発見、迅速な対応を基本方針とする。
- 対策会議：生徒指導課、人権尊重教育・いじめ防止委員会、いじめ防止対策拡大会議の3つを設置。
- 具体的対策：相談窓口の設置、定期アンケート、家庭・地域との連携。重大事態発生時は県教育委員会と連携し、調査・情報提供を行う。



## (6) コンプライアンス委員会

- 年間計画：職場作りのための「ポジティブ・タイム」の継続。
- 研修：5月に交通安全ワーク、11月に外部講師（谷澤氏）を招いたコミュニケーション研修（アサーション研修）を予定。
- 共通ルールの変更：
  - ・「SNS」という呼称を、より広範な「SNS等（情報共有・発信ツール全て）」に変更。
  - ・児童生徒との個人的な連絡（電話・メール・SNS）は原則禁止から「一切行わない」へ厳格化する。
  - ・撮影機器の制限をし、個人所有の機器は使用せず、学校所有物を使用する。意図を明確にして撮影する。

## (7) 委員の皆様からのご意見・ご感想 質問に対する学校の返答

- 保護者による撮影について：保護者が体育大会等で撮影しSNS等へ投稿することへの懸念に対し、学校側は「家庭での使用に留め、発信は控えるよう入学時や行事前に都度お願いしている」と回答した。今後も注意喚起は必要との意見が出された。
- いじめ・不祥事対策の性質：「これらの対策が特別支援学校特有のものか、一般的か」という問いに対し、「基本的には一般的なものだが、障害のある子供たちの言葉の捉え方は難しい面があるため、より丁寧に早期発見に努める計画にしている。」と説明した。
- 福祉施設との違い：委員からの質問に対し、学校（教育機関）は「自立と社会参加を目指す教育の場」であり、幼稚部から高等部卒業後の成人施設（福祉機関）への流れや、昨年度は9名が企業に就職した実績などが説明された。
- 保護者の声：多忙な中での学校の対応に感謝が述べられるとともに、SNS等や携帯電話の管理についても学校と協力していきたいとの意見があった。

## (8) 校長挨拶

地域と共に歩む学校であることを再確認できた。教職員も非常に熱心であるが、教員人気の低下や「ブラック企業」というイメージによる採用への懸念もある。教職員が元気に働くことが子どもたちへの還元になるため、地域の支援をお願いしたい。また、昨年校外で発生したコンプライアンス事案についても触れ、改めて気を引き締めて安全安心な学校を作ると述べた。

- ※今後の予定・5月30日：体育大会 ・12月5日：御特祭
- ・7月8日：第2回学校運営協議会 11月19日：第3回学校運営協議会
  - ・2月17日：第4回学校運営協議会 等の計画を周知

(終了)